

# 「第13次自動車盗難防止キャンペーン」スタート！

～Facebook上で「大事なクルマ盗られま川柳」を募集します～

自動車盗難等の防止に関する  
官民合同プロジェクトチーム  
(民間側事務局：一般社団法人日本損害保険協会)

「自動車盗難等の防止に関する官民合同プロジェクトチーム(※裏面参照)」では、10月7日(月)～20日(日)の期間に、第13次自動車盗難防止キャンペーンを実施いたします。

## ～ キャンペーン実施概要 ～

**目的：**自動車盗難への注意喚起を行って盗難防止対策ポイントを理解してもらい、「まず取り組む」という姿勢の必要性を訴求していくこと。

**期間：**2013年10月7日(月)～2013年10月20日(日)

**内容：**

### ①Facebook特設ページでの川柳募集

Facebook上で「大事なクルマ盗られま川柳」を募集し、後日大賞1名と入選14名の方に図書カード総額10万円分をプレゼント致します。(facebook.com/car.tounan.boushi/)



第13次キャンペーンFacebook特設ページ

### ②キャンペーンポスター掲出、啓発チラシの配布

官民合同プロジェクトチームに参加の各機関および各都道府県自動車盗難等防止協議会ほか協力機関の関係場所(警察署、自動車ディーラー、整備工場、自動車教習所、駐車場など)において実施します。

<作成数>ポスターB2/17万枚 チラシA4/150万枚

### ③盗難多発地域(千葉県・愛知県・大阪府)における地域協議会等による街頭活動

キャンペーンスタートの当日10月7日(月)には、上記3府県において、各当地域のキャラクターが参加して啓発チラシを配布する街頭活動を行います。

#### <オートバックスグループ店頭でのチラシ配布>

オートバックスグループの協力を得て、全国の店舗にて実施します。

#### ■ 本件に関するお問い合わせ先 ■

一般社団法人日本損害保険協会	損害サービス業務部	自動車盗難対策室	三村 吉田	TEL03-3255-1226
	生活サービス部	広報室	柴田 山川	TEL03-3255-1213
一般社団法人日本自動車工業会	広報室		古川	TEL03-5405-6119

【ポスターのデザイン】



(B2サイズ)

【盗難多発地域における地域協議会等による街頭活動】

○千葉県 (チーバくん)



日時：10/7(月)8：20～8：50  
場所：千葉そごう正面入り口広場

○愛知県 (はち丸)



日時：10/7(月)8：20～8：50  
場所：JR名古屋駅東口

○大阪府 (モッピー)



日時：10/7(月)8：20～8：50  
場所：淀屋橋交差点

当日は、地域協議会等のメンバーがご当地キャラクターの応援を得て自動車盗難防止のために啓発チラシを配布致します。ご多用中とは存じますが、本キャンペーン開催の趣旨をご賢察いただき、何とぞご取材賜りますよう、ここにご案内かたがたお願い申し上げます。

※写真はイメージです。

※自動車盗難等の防止に関する官民合同プロジェクトチーム

本プロジェクトチームは、政府の「国際組織犯罪等対策推進本部」の決定に基づき、急増する自動車盗難を防止するための総合的な対策を検討するために2001年9月に設置した組織であり、下記の政府・民間機関を構成メンバーとしています。  
警察庁、財務省、経済産業省、国土交通省、一般社団法人日本損害保険協会、一般社団法人日本自動車工業会、JA共済、一般社団法人全国警備業協会、公益財団法人全国防犯協会連合会、一般社団法人全国レンタカー協会、一般社団法人全日検、一般社団法人全日本駐車協会、一般社団法人日本貨物検数協会、日本自動車車体整備協同組合連合会、一般社団法人日本自動車整備振興会連合会、一般社団法人日本自動車販売協会連合会、日本自動車輸入組合、一般社団法人日本自動車連盟 (JAF)、日本中古車輸出業協同組合、一般社団法人日本中古自動車販売協会連合会、公益社団法人日本防犯設備協会、一般社団法人日本損害保険代理業協会

# 【自動車盗難の現状と対策】

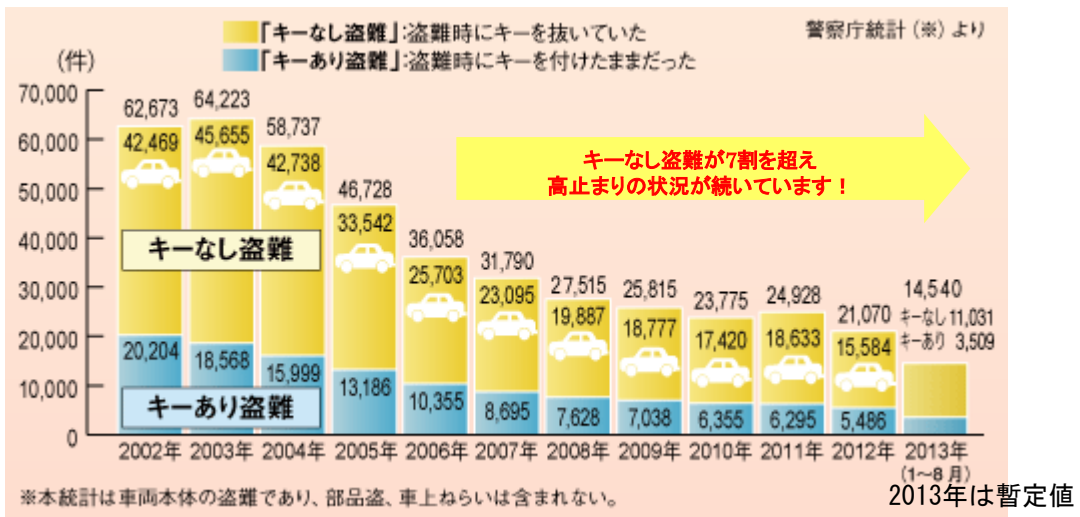
## ○盗難被害時のキーの有無別割合の推移

「キーなし盗難」の割合は2003年以降7割を超えており、この原因は組織的な窃盗グループの犯行が後を絶たないことによるものと考えられます。車から離れる際、鍵を掛けることは基本的な対策ですが、窃盗グループの犯行に備えるためには、それだけでは十分な対策とは言えません。

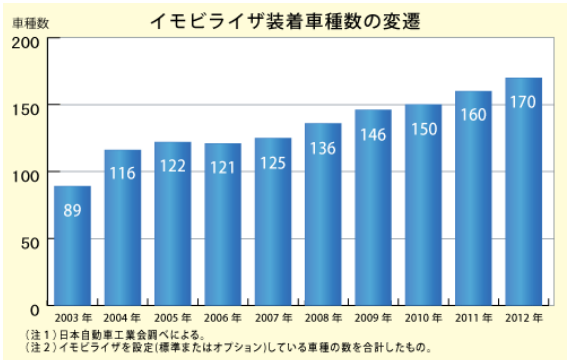
**イモビライザ**やバー式ハンドルロック、センサー式警報装置、GPS追跡装置を設置するなど、自ら積極的に対策を講じるとともに、**駐車場対策**を講じることが大切です。

また、自動車本体だけでなく、**カーナビゲーション・システム(以下「カーナビ」という)の盗難対策**を講じる必要があります。

## 盗難被害時のキーの有無別割合の推移



## 【普及状況】



## 1. 盗難防止に有効なイモビライザ

イモビライザ装着車(オプション設定を含む)の車種数(乗用車)は、2012年12月には、170車種にまで達しました。2003年と比べると、2倍近く増加しています。

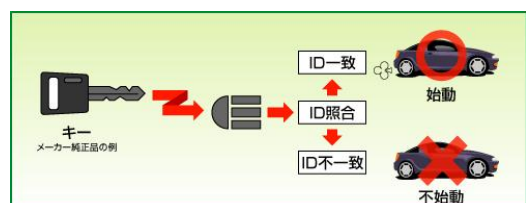
イモビライザは、自動車盗難を防止する上で有効な盗難防止装置のひとつです。新車を購入する際にはイモビライザの装着を呼びかけています。

## ●イモビライザって？

キーに内蔵されたトランスポンダから出される複雑な暗号(IDコード)を車両本体内のコンピュータで照合し、正規のキーと判定されないとエンジンが掛からない盗難防止装置(注)。キー自体の機能と電子的な暗号のダブルロックでクルマを守ります。

(注) メーカー純正品の例。その他、市販の後付けタイプもあります。

## 【仕組み】



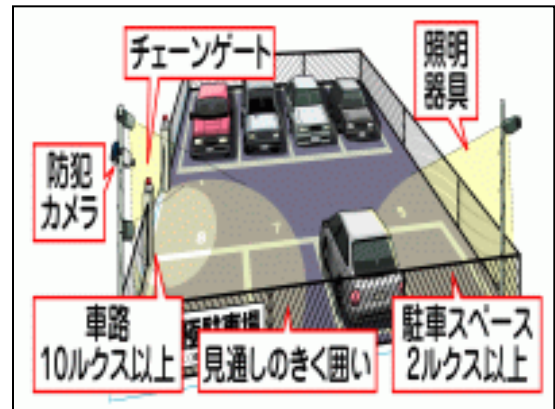
## 2. 駐車場対策

警察庁データによると、自動車盗難の発生場所は、月極駐車場＝23.3%※、住宅の駐車場＝17.5%、路上＝6.2%※となっています。月極駐車場は夜間も明るく防犯対策の整った所を選び、自宅駐車場には防犯灯や防犯カメラなどを備えましょう。また外出時の路上駐車はやめて、明るく監視の行き届いた駐車場を利用する心がけも大切です。

※2012年データ（警察庁調べ）

狙われにくい駐車場の特徴をご紹介します。

- ①明るく見通しが良い
- ②防犯カメラが設置され、場内に死角がない
- ③夜間でも明るい照明やセンサーライトが設置されている
- ④出入口にゲートが設置されており、関係車両以外は侵入できない



## 3. カーナビ盗難対策

警察庁統計によると、2012年の部品ねらい認知件数は51,197件でした。部品ねらいの主な被害品としてはカーナビが挙げられます。カーナビ盗難を防ぐために、以下の対策を呼びかけています。

- ①取り外し可能なカーナビは自宅に持ち帰る
- ②固定式のカーナビは盗難防止ネジを活用する
- ③カーナビ購入時にはセキュリティコード機能が搭載された機種を選ぶ
- ④車両を離れるときは、取り外しできないカーナビにはカバーをかける（カーナビの機種を特定できないことから、犯人が盗みづらくなります。）
- ⑤カーナビの保証書類は車外の場所に大切に保管する

また、カーナビ購入後にユーザー登録を行うことで、盗品カーナビの転売が難しくなり、盗品カーナビ流通市場の縮小が期待できます。

